

登録コード	L1740300	開講年度	2026				
担当教員	山本 英二			副担当			
授業科目	日本史発展演習						
英文授業名	Japanese History: Advanced Seminar						
授業タイトル							
単位数	2	対象学生		講義期間	後期	曜日・時限	水曜・4時限
講義室	人文401 演習室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2022Lカリ, 2021Lカリ, 2020Lカリ						
	【2022年度以前加付対象】自明とされる事柄に対し、深くその根拠を問い直し新たな認識を構築できる思索力				・古文書を正確に解読し、歴史的な思考ができるようになる。		
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降加付対象】専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身についている。【開拓力・企画発想能力】				・古文書を正確に解読し、歴史的な思考ができるようになる。		
授業で学べる「テーマ」	その他						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	演習では、信濃国松本藩藩主戸田光年『神龍院様御事実綱領』をテキストに、古文書を解読し、個別発表をおこない、みんなで討論します。また、希望に応じて県内の博物館見学や、演習に関係する地域でのフィールドワークもおこなってみたいと思っています。						
授業計画	第1回 ガイダンス 第2回 くずし字辞典の使い方 第3回 『神龍院様御事実綱領』について 第4回 古文書解読 文化5年4月(1) 第5回 個人報告(1) 第6回 古文書解読 文化5年4月(2) 第7回 個人報告(2) 第8回 古文書解読 文化5年5月(1) 第9回 個人報告(3) 第10回 古文書解読 文化5年5月(2) 第11回 個人報告(4) 第12回 古文書解読 文化5年6月(1) 第13回 個人報告(5) 第14回 古文書解読 文化5年6月(2) 第15回 個人報告(6)・授業アンケート 定期試験なし						
成績評価の方法	ゼミでの個人報告および出席などの平常点(60%)を重視します。古文書読解力の到達点をみるために、試験もしくはレポート提出(40%)を課すことがあります。						
成績評価の基準	古文書解読、学術著書・論文の読解、ゼミ報告のプレゼンテーション、ディベートを総合して評価する。授業の趣旨をきちんと理解し、積極的に参加し、提出されたレポートの内容が正確かつ意欲的なものであれば「卓越している」と評価する。以上の項目すべてに関して妥当性が認められる場合は「やや上にある」、総合的に見て妥当性が認められる場合は「その水準にある」と評価する。						
事前事後学習の内容	事前に辞典類で古文書解読の予習をすること。事後には随時指示する参考文献により知識の確認をおこなうこと。						
履修上の注意	無断欠席は一切認めません。必ず予習をして望んでください。積極的に発言してください。						
質問、相談への対応	オフィスアワー【水曜日12:10～13:00】および授業終了後に対応します。 場所：人文学棟3F・山本研究室						
教科書	『くずし字解読辞典』 児玉幸多監修 東京堂出版 2,420円						
参考書	深井雅海『江戸城』(中公新書)760円						